

キャラクター名
小間割 忠済(こまわり ただすみ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス モルフェウス	ワークス	刑事	カヴァー	警察官
オプション		年齢	29	性別	♂
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	29%
出自	父親不在	経験	小さな名誉	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	11
精神	0	0	0	1		1	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	5	
運転:自転車	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:面影島	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ(硬式野球ボール)	射撃	5r+3		2		基本1.177
拳銃(ニューナンプ)	射撃	5r+3		3		基本1.177
メジャー	射撃	8r+3				8dx8+3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
自転車	基本1.178
メモリー: 駐在が暇な日	EA.18
メモリー: 黒い雨といつかの昨日	
メモリー: 姉妹のおもかげ	
コネ: 警察官	基本1.179
コネ: 桜庭静流	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
申し子	LM.72P	N		
真相を追う仲間達	P 信頼	N 劣等感		
面影姉妹(死者)	P 遺志	N 悔悟		
美作重陽	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
リミットブレイク	1	4	メジャー					
効果:	「制限:n%」のエフェクトを制限なしで使用できる。シナリオLv回。							
ギガノトランス	1	20	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	120%	
効果:	組み合わせた攻撃の範囲と射程変更。シーン1回。							
カスタマイズ	3	2	メジャー	武器		対決		
効果:	ダイス+LV個。							
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー					
効果:	C値-Lv(下限7)							
水晶の剣	5	4	メジャー	至近		自動		
効果:	他エフェクトと組みあわせ不可。シナリオ間、武器一つの攻撃力+[Lv*2]、シナリオ3回。							
クリスタライズ	3	4	メジャー			対決	100%	
効果:	装甲無視、攻撃力+[Lv*3]、シナリオ3回。							
万能器具	1							
効果:								
折り畳み	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: 本官 口調: あります口調
島唯一の駐在さん。
性格はのんびりで、自分(警察)が暇なことが一番だとよく言ってるが、それは仕事をしたくないからではなく、平和を望んでいる一心から来ている。

母子家庭で育ち、幼少の頃は母親が帰ってくるまで外で一人待っていることもあったが、そんな時に巡回中のお巡りさんに相手をしてもらっていた事から、警察官を町の人々を笑顔にするヒーローのように感じ、自分も警察官になると思った。
念願の警察官に就職できたのちのある日のこと、同僚と巡回中にUGNとジャームの抗争に巻き込まれ、この場でレネゲイドに感染、覚醒する。UGNエージェントによって事は済み、忠済たちにも記憶処理が施されようとしたが、忠済はオーヴァードに覚醒したため記憶処理はされなかった。
異能力を手に入れた忠済だったが、自分は裏の世界で力を使い活躍することよりも、もっと身近なありふれた人々の日常を表から守りたいと思い、自分のできる限りの協力をする程度に収めている。

日中は自転車で自分の担当区域をうろうろ(パトロール)し、町の人々と交流し、時にはいろいろと首を突っ込んではおせっかいを焼いている。

中高と、野球部に所属しており、甲子園出場経験がある。ちょっとした荒事には硬式ボールを投げつけて相手をひるませて対処する。そのため、いつも硬式ボールを持ち歩いている。ちなみに子供たちと野球するときにも使う。軟式もある(子供たちと野球する用)。

警察官なので拳銃を携行しているが、発砲したら始末書なので、滅多に抜くことはないが、平和を守るためだったら、ためらいなく銃を抜く覚悟はできている。また、拳銃は一般的に支給される、小径口のリボルバーで、モルフェウスの能力で外からは分からないがバッキバキに改造されている。署などに返却するときにはバシないように元に戻している。

戦闘スタイルは、投げた球や、撃ちだした弾に改造を施すことで、まるで空中で何かにはじかれたように勢いを殺さず、ありえない角度で方向転換をおこない、自身の射程圏内全てをカバーする。一言で言うとセックスピストルズ。